

岩手 UURR ものづくり産業連携推進協議会の大連訪問成果について

岩手大学は、昨年度から日本貿易振興機構（JETRO）の支援を得て、中国大連地域と岩手地域との地域間交流支援（RIT）事業を展開してきておりますが、今年も本学が事務局を務める岩手 UURR ものづくり産業連携推進協議会が産学官の関係者 26 名からなる大連訪問団（団長：齋藤徳美理事・副学長）を組織し、大連理工大学及び企業訪問、シンポジウムの開催などを実施してきました。

2008 年 11 月 11 日に大連理工大学国際会議センター第二会議室で開催されたシンポジウムでは、今年から新たに大連企業と実施することになった共同研究及び技術移転の契約を締結し、さらには本学工学部と大連理工大学化工学院との間で学生交流の覚書を締結するとともに、今回契約を締結することとなった企業との合同発表や、日系企業の大連での取組み、大連理工大学の産学官連携などが発表されました。



大連理工大学でのシンポジウム

今回、本学が大連企業や大連理工大学と締結した契約（2 件）及び覚書概要は以下のとおりです。

1 共同開発に関する秘密保持契約について

大連泰康科技有限公司（董事長：戴維）と岩手大学は、本学工学部情報システム工学科の千葉則茂教授（専門：メディア情報学）が研究している自然物・現象の CG シミュレーション技術を同社のモバイル・エンジンへ組み込むための共同開発を行うことで合

意しました。今回の契約は、この共同開発に先立ち、同社、本学、及び大連理工大学の3者が関係情報の秘密保持に関わる契約を締結したものです。

また、本学は2009年度新設するデザイン・メディア工学専攻に同社社員の2名を受け入れ、人材教育も行う予定です。



共同研究に関する秘密保持契約の締結（左端は千葉教授）

2 ノウハウライセンス及び共同開発契約について

今回の契約は、2008年3月に大連四達鑄造有限公司（総経理：劉宏偉）、本学、及び大連理工大学の3者が締結した「片状黒鉛鑄鉄の高強度化に関する技術」（発明者：堀江 皓岩手大学特任教授）に関する技術移転契約を踏まえ、同社がその後の評価を行い、本格的にノウハウの実施許諾を行うことを目的とした契約です。

技術指導及びノウハウに関する実施許諾の有効期間は2009年12月31日までです。



ノウハウライセンス及び共同開発契約の締結（左端は堀江特任教授）

3 本学工学部と大連理工大学化工学院との学生交流に関する覚書について

本学工学部と大連理工大学の化工学院は、学生交流に関する覚書を締結しました。交流は、学生（あるいは大学院生）が対象であり、受入れは毎年2名以内、原則1年間です。



工学部と大連理工大学化工学院との学生交流に関する覚書の締結